

観光動向調査の結果から見える課題等について
(事前に委員の皆様からいただいたご意見)

【日本人観光客について】

- ・宇治茶に対する期待度は高い一方(Q18②期待度)、Q8 では、宇治茶や宇治茶スイーツを購入、飲食等している率が減少している。また、Q9 では、お茶関連を含め、体験に関し期待や魅力を感じている人の率は低下している
- ・来訪者の満足度は概ね高いものの(Q18①満足度)、令和4年調査と比べても、「飲食」、「おもてなし」、「情報提供」の面でポイントが低下している。また(Q15)心に残ったことについて、各項目減少している
- ・宇治市の観光全体の期待度(Q18②期待度)(大いに期待+期待)の低下について、来訪意欲や周遊の計画にも影響が及ぶのではないかと考えられるため、来訪者の期待することも踏まえ、何を伝えたいのか、何を体験(消費)してほしいのかを見極めて的確な情報発信や、受入側にも伝えていくことが必要と考えられる
- ・道が狭く移動が難しいことは改善に時間を要すると思う。ごみの清掃など、実施しやすく効果が表れやすいものから改善するのが良いと思う

【外国人観光客について】

- ・宇治の観光に対し、満足度も高く、特に、お茶に関する興味・関心の高さ、お茶関連の消費も大きいことが確認できる
- ・アジア団体客から欧米豪の個人旅行者になり消費単価が増加傾向にあり、外国人観光客のプレミアム化が進んでいると考えられる
- ・観光消費額の価格帯において3万円以上の最上位が最も多く、今後の調査ではさらに上の価格帯調査が必要か(1~3万円、3~5万円、5万円以上など)
- ・「宇治市を訪れるのが初めて」と回答した割合が85.1%。宇治はまだ外国人にとって「未開拓の観光地」
- ・ニンテンドーミュージアムの知名度の高さ(まだ訪れている人が少ない?)=ポテンシャルが高いのではない
- ・JR移動の外国人向け案内が有効(「JR宇治駅」が最重要拠点)
- ・外国人観光客の35.1%が1人旅、また55.2%が女性であり、1人でも安心して滞在できる環境の整備が鍵ではないか
- ・宿泊やWi-Fiの弱さは、フリーWi-Fi、翻訳アプリ対応、英語表記が必要と考えられる
- ・18時以降の出発者が約7%程度しかいない一方外国人は約15%で日本人より多い。夜まで滞在する人が少ないので、この割合が増えれば、消費額も増えると思われる(Q5)